

スペイン. 文学の旅

訳例と解答例

9. はたご屋『猫』(1), p.23

セビリアのマカレーナの門からサンヘロニモ修道院に向かう道の中ほどに、名の知れたはたご屋が数軒あるなかで、その場所柄といい、その独特の雰囲気から言っても、今はもう変わってしまっはいるが、昔はアンダルシアのはたご屋のなかでも、もっとも「生粋」で典型的といえる店がある. (...)

このことは、もう何年も昔、少なくとも 10 年か 12 年も前のことであった。私はまるで自分の故郷ではないかのようにして、そこに居合わせていた。服装から始まって、驚いた顔の表情にいたるまで、私の風采すべてがそこのおおらかでにぎやかな楽しさとはそぐわないものであった。私にはまるで通りすがりの人々が場違いな邪魔者を見るときのうさんくさい目つきで、私の方を振り返って見ているように思えた。

*L.1. タイトルはなぜ「旅籠屋『猫』」となるのですか。「猫の旅籠屋」ではないのですか？→前置詞の *de* は「…という」という意味の「同格」で使うことがあります。たとえば、*La Calle de Alcalá* は「アルカラ(という)通り」になります。

*L.2. *hay* の主語は？

→主語はありません。「…がある」の…に当たる部分はスペイン語では目的語です。ここでは *uno*

*L.3. *que en él concurren* の主語は？

→関係節の先行詞(*las circunstancias especiales*)です。「より集まっている独特の雰囲気」という意味になります。

*L.5. *si ya no lo es* の *lo* は何を指していますか？

→*el más neto...*以下全部を指します。この *lo* は *ser*, *estar*, *parecer*, *fingir* という動詞の補語に使われます。¿*Juan es inteligente?* -- *Sí, lo es.*

*L.7. *De esto* はどうかかるのですか？

→hace ya muchos años にかかります。「…から, …以来」という意味です。全体で、「このことがあって, もう多くの年月を経過した」となります。

*L.8. como fuera は como si fuera と同じですか？

→いいえ, 違います。この fuera は ser 動詞の接続法過去ではなくて, 「(…の[de]) 外で」という意味の副詞です。como は「…のように」と訳します。

*L.8. なぜ mi centro natural を「自分の故郷」という意味になるのですか？

→centro は「中心」というより「場所」を示します。

*L.10. cuadro「絵画」が訳されていません。

→ここでは, 「情景」のような意味です。今主人公はこの「情景」を絵に描こうとしているので, まさに cuadro という言葉が使われているのでしょう。

*L.10. franca と bulliciona は alegría を修飾するのですか？

→そうです。このように長い形容詞でも前に置かれることがあります。

*L.10. Parecióme の me の位置が変です。

→古い文章の特徴です。現代文ならば Me pareció となります。

*L.11. al pasar の al は文法的にどう説明されるのですか？

→al + 不定詞は, 「…するとき」と訳します。不定詞は動詞の名詞的用法ですから, 冠詞をつけることができます。前置詞の a は「時」を示します。a + el で al となります。

*L.11. a mirarme の a の働きは？

→volvían la cara にかかり, 「…しようとして」という「目的」の意味になります。

●EJERCICIO, p.24

その人がはじめ私の目には虚栄心に満ちた詐欺師のように見えたが, 後になるとこれまでに聞いたことがないほど愉快なおしゃべりのように思えた。

* que 以下の en mi vida はなぜ否定形に訳すのですか？

→el más gracioso charlatán は最上級です. それを修飾する que 節は「…の中で(最高の)」という意味になります. 上の例では「これまでに聞いた中で最高に愉快なおしゃべり」という意味です. それは, 「これまでに聞いたことがないほど愉快なおしゃべり」と訳すこともできます.